

地域づくり実習における社会人基礎力の評価

The Evaluation of “Social Basic Skills” on “Regional Development Practice”

谷口 新一

TANIGUCHI Shinichi

社会人基礎力は、経済産業省「社会人基礎力に関する研究会」の平成17年度中間取りまとめで報告された概念であり、社会人としての基本的な能力を「3つの能力／12の能力要素」で規定している。

さて、本学の地域づくり実習は、社会人基礎力「3つの能力／12の能力要素」を獲得することを授業の目的としている。社会人基礎力を客観的定量的に把握することは難しいと考えるが、授業スタート時の本人自身の獲得意向と授業終了時の本人の自己評価を行うことは、教員などの第三者の評価以上に重要視される本質的な価値であるとも考える。今回の研究ノートでは、地域づくり実習の授業前後での学生へのアンケートを基にその結果を記録し、学生の現状把握と授業改善の資料としたい。

キーワード：社会人基礎力、学生アンケート

社会人基礎力の獲得意向と自己評価結果

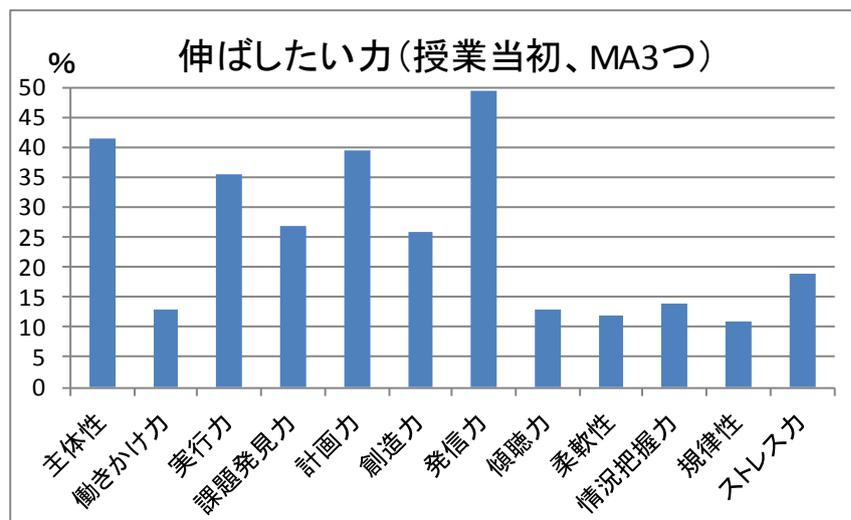
地域づくり実習の到達目標は、社会人基礎力のいわゆる「3つの能力／12の能力要素」の向上としている。授業最終回の授業アンケートにおいて、「3つの能力」（前に踏み出す力、考え抜く力、チームで働く力）というカテゴリー分類については、目標達成度を5段階で自己評価する機会があるが、「12の能力要素」について、学生の獲得意向や授業後の到達度の自己評価を知りたいと考えた。

そこで、授業の初回で、学生にシラバスの説明や到達目標の説明の機会があり、その際、ワークシート（WS01-1、このノートの最後に掲載）を使って学生の獲得意向を知り、その後授業の最後にもう一度同じワークシートを使い、授業後の到達度の自己評価を知ることとした。

以下、結果を報告する。

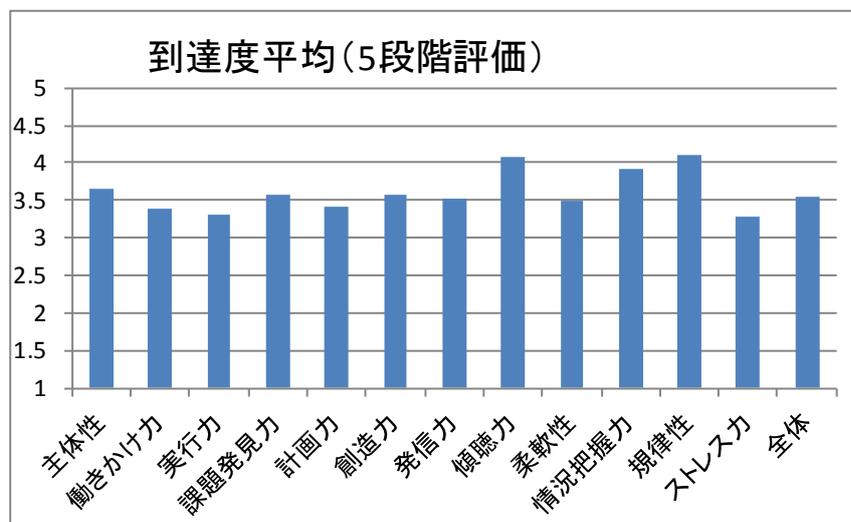
(1) 伸ばしたい力

伸ばしたい力をマルチアンサーで3つまで記入してもらった。初回の授業で記入するのはワークシート左部。定性的な意向把握のために、伸ばしたい理由もそれぞれ記入してもらった。伸ばしたい力で最も比率が多かったのが“発信力”であり、50%近い学生が選択している。“主体性”や“計画力”、“実行力”なども3割以上の学生が選択した。逆に、“規律性”などは低い値となった。「3つの能力」の内、チームで働く力の6要素の内、発信力を除く5要素がどれも低い値となった。



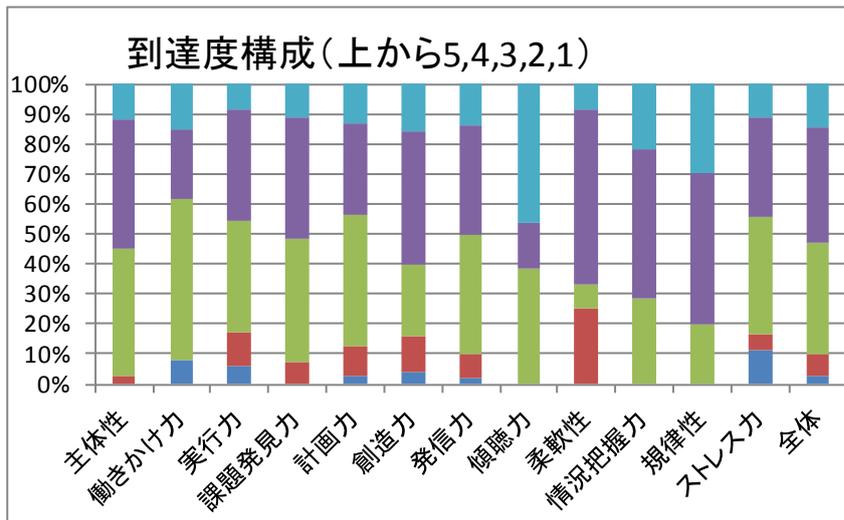
(2) 到達度平均

授業の最終回の最後、授業のふりかえりも兼ねてワークシートの右部を記入してもらった。12能力要素の到達度平均は次のようになっており、“規律性”や“傾聴力”、“情報把握力”の到達度が比較的高いものの、各能力要素で大きな差異はない。当初の授業で、獲得意欲には12能力要素で大きなばらつきが見られたが、授業後の獲得成果については大きな差異が見られない。



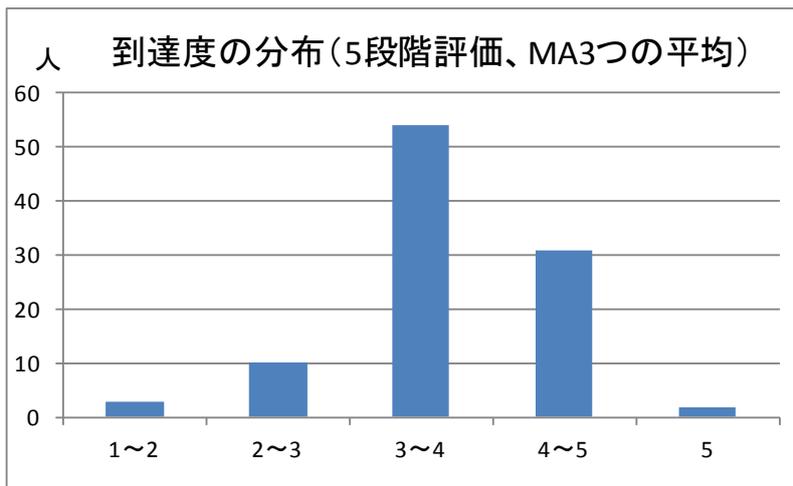
(3) 到達度構成

到達度の平均には大きな差異が見られなかったが、平均値に至る到達度の構成をみると、各12能力要素で違いも見られる。“傾聴力”や“規律性”については到達度5の割合が高い。反面、“柔軟性”や“実行力”、“創造力”における到達度の低い割合が大きい。“傾聴力”などある意味受動的な力は備わっているが、“実行力”や“創造力”など、社会人として必要なよりポジティブな能力の獲得に戸惑っている姿も見てとれる。



(4) 到達度の分布

約100名の各学生の到達度の分布(MA3つの平均)が次のグラフである。平均が3未満の学生も10%程度見受けられる。最初に到達困難な12能力要素に取り組んだのか、それとも授業では獲得が難しかったのか、今後の課題である。

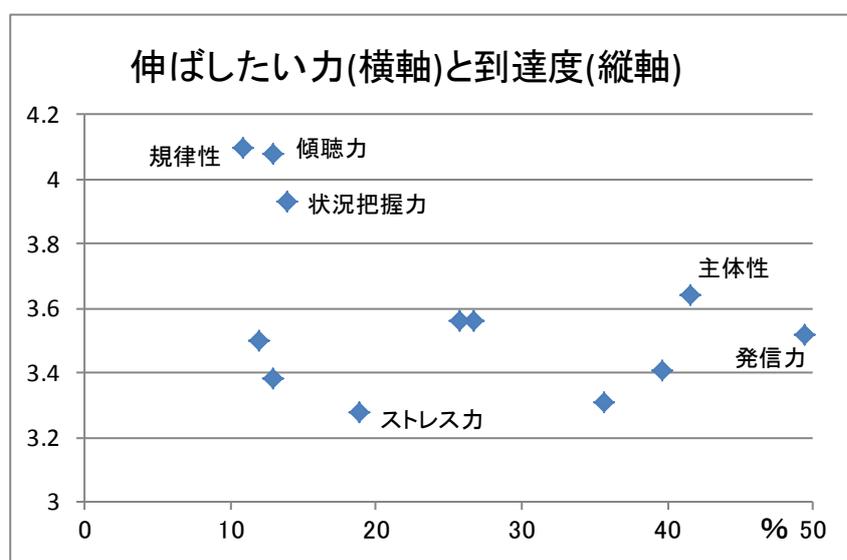


(5) 伸ばしたい力の到達度

以下の図は、授業の最初と最後の各12能力要素のポジショニングを把握する意味で作成した。“発信力”は伸ばしたい力として半数近くの学生が選択していたが、到達度は平均的な値となっ

た。12能力要素を平均的に扱うのではなく、学生ひとりひとりの成長に寄り添うというコンセプトを大切にすれば、授業構成を当初の学生の意向を把握して微修正するということが今後の検討課題としたい。

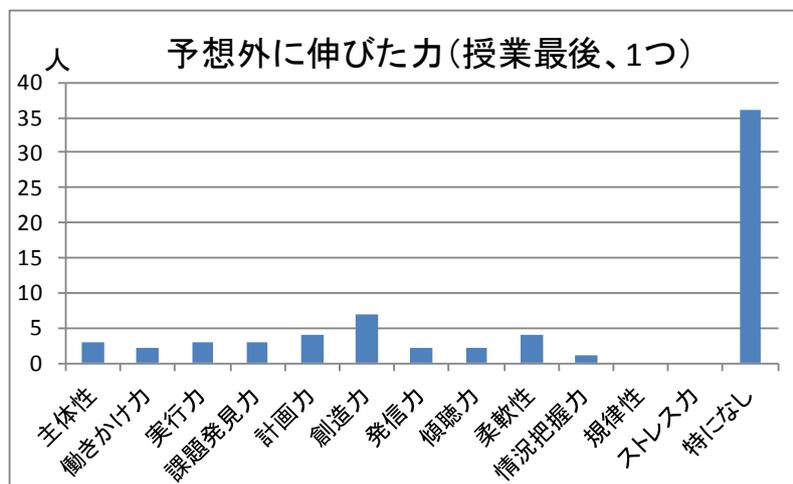
“規律性”や“傾聴力”、“情報把握力”は、授業当初、伸ばしたい力として選択した学生数は少なかったが、これらを目標とした学生は他の到達度よりも高い自己評価をしている。これは、到達目標に至る授業構成が良かったのか、それともそもそも学生自身が獲得しやすい目標として選択したのかの把握が必要である。これらはある意味“受動的な力”であり、獲得が容易でもあることが推察される。授業では、より獲得が難しくても、社会人としても他者との差別化で戦略的な能力として位置付けることができる、“主体性”や“実行力”などのいわば“ポジティブな力”の獲得に向けた授業構成をしていきたいと考えている。



(6) 予想外に伸びた力

質問すべき事柄が予想外ということでもあるので、ワークシートでは当初の書式としていないが、授業の最終回、ワークシートの下部空白に、任意で記入してもらった。

“特になし”という人数が一番多いが、“創造力”が予想外に伸びたという学生も見受けられる。



【参考ホームページ】

- ・ 社会人基礎力 (METI/経済産業省)

<http://www.meti.go.jp/policy/kisoryoku/>

- ・ 基礎的・汎用的能力の明確化と、その育成について：文部科学省

http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo10/shiryo/attach/1278415.htm

【授業で使用したワークシート WS01-1】

地域づくり実習 社会人基礎力ワークシート WS01-1

学籍番号： _____ 氏名： _____



経済産業省
Ministry of Economy, Trade and Industry

「社会人基礎力」とは

▶ 平成18年2月、経済産業省では産学の有識者による委員会(産長:諏訪原雄三(法政大学大学院教授))にて「職場や地域社会で多様な人々と仕事をしていくために必要な基礎的な力」を下記3つの能力(12の能力要素)から成る「社会人基礎力」として定義づけ。

<3つの能力 / 12の能力要素>

前に踏み出す力 (アクション)

～一歩前に踏み出し、失敗しても粘り強く取り組む力～



主体性 ①
物事に進んで取り組む力

働きかけ力 ②
他人に働きかけを求めたり

実行力 ③
目的を設定し、確実に行動する力

考え抜く力 (シンキング)

～疑問を持ち、考え抜く力～



課題発見力 ④
現状を分析し、目的や課題を明らかにする力

計画力 ⑤
課題の解決に向けた方法や手段を具体的に計画する力

創造力 ⑥
新しい価値を生み出す力

チームで働く力 (チームワーク)

～多様な人々とともに、目標に向けて協力する力～



発信力 ⑦
自分の意見をわかりやすく伝える力

傾聴力 ⑧
相手の意見を丁寧に聴く力

柔軟性 ⑨
意見の違いや立場の違いを理解する力

状況把握力 ⑩
自分と周囲の人々や物事との関係性を理解する力

規律性 ⑪
社会的ルールや人との約束を守る力

ストレス管理能力 ⑫
ストレスの発生源に対応する力

社会人基礎力12能力要素の中であなたが今後伸ばしたい力3つとその理由は？

番号 () 理由：	到達度 (5・4・3・2・1) コメント：
番号 () 理由：	到達度 (5・4・3・2・1) コメント：
番号 () 理由：	到達度 (5・4・3・2・1) コメント：